

経済学	経済学
-----	-----

[講義] 第1学年 前期 選択 2単位

《担当者名》金盛 直茂 kanamori@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

本授業は、日本経済や身近な問題を経済学の視点から考えていく。主に、ミクロ経済学・マクロ経済学の基礎を学ぶ。そして、様々な問題に対してどのような解決方法があるのかを、一緒に考えていく。

【学修目標】

1. ミクロ経済学・マクロ経済学の基礎を修得すること。
2. その知識をもとに、様々な社会問題に対して応用し、解決策を提示できるようになること。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	経済学の考え方	経済学とはどのような学問かを説明できる。	金盛
2	経済学の考え方	トレードオフや経済学の便益・費用を使って、身近なことを説明できる。	金盛
3	経済学の考え方	トレードオフや経済学の便益・費用を使って、日本経済の問題を説明できる。	金盛
4	経済学の考え方	サンクコストの誤謬など、行動経済学的な視点で、身近なことを説明できる。	金盛
5	市場の役割	経済循環図を作成し、消費と生産がどうつながっているかを説明できる。	金盛
6	市場の役割	需要曲線と供給曲線を使って、身近なことを説明できる。	金盛
7	市場の役割	市場の均衡と価格調整機能の仕組みを説明できる。	金盛
8	政府の役割	日本の財政とその課題を説明できる。	金盛
9	政府の役割	公共財のフリーライダー問題を説明できる。	金盛
10	政府の役割	格差を是正する累進課税制度と社会保障制度を説明できる。	金盛
11	政府の役割	景気を安定させる役割の重要性を理解する。	金盛
12	GDP	GDPがどのように決まるかを説明できる。	金盛
13	GDP	付加価値、三面等価を説明できる。	金盛
14	GDP	世界のつながりから日本の経済を説明できる。	金盛
15	ゲーム理論	ゲーム理論を使って、身近なことに適用できる。	金盛

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

小テスト30%、期末試験70%で評価する。小テストを毎回の授業で課す。小テストは、次回の授業までに返却し、授業内で小テストの解説を行う。

【教科書】

教科書は使用しない。プリントを適宜配布する。

【参考書】

マンキュー 『マンキュー入門経済学 第4版』 発行元：センゲージ・ラーニング株式会社 2024年

伊藤元重 『入門経済学 第4版』 日本評論社、2015年

二本杉剛・中野浩司・大谷咲太 『プレステップ経済学 経済実験で学ぶ』 弘文堂 2013年

東京経済大学国際経済グループ 『私たちの国際経済 第3版 -- 見つめよう、考えよう、世界のこと』 有斐閣 2013年

中谷武、中村保 編 『1からの経済学』 碩学舎 2010年

根岸 毅宏、中泉 真樹 編 『アクティブ・ラーニングで学ぶ 日本の経済』 東洋経済新報社 2021年

【備考】

授業時間中に、Google Formを活用しその場で学生の理解度を把握する。また、Google Classroomを利用して小テストを提示する。

【学修の準備】

復習：参考書をもとに、授業の内容を再度確認すること（2時間）。

予習：関連した文献、記事を紹介するので、読んでおくこと（2時間）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3：社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

DP1：人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している